

令和5年度 市の決算状況

皆さんが納めた税金などは、市民の生活をより良くするために、市が実施するさまざまな事業に使われています。

今月の特集は、皆さんの大切な税金がどのように使われているかを知ってもらうために、市の決算状況についてお知らせします。

▼問い合わせ先 財政課財政係（☎内線224）

福祉や教育、消防など、市が日常的なサービスや生活基盤の整備を行うための一般会計。

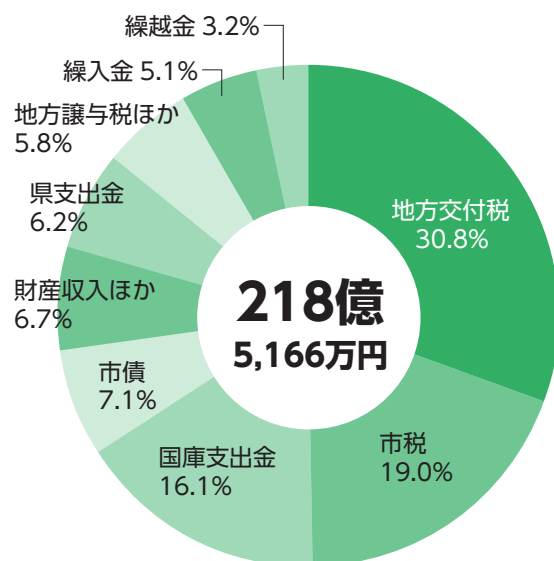
令和5年度の歳入は約218億円と、昨年度から約31億円の減少。歳出は約211億円と、こちらも昨年度から約31億円減少しました。

歳入と歳出の差し引きから翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた「実質収支」は約7億円の黒字でした。

家計で例えると貯金にあたる「基金残高」は、令和4年度から約1.8億円減少し、約92.6億円、県内14市の中では第9位です。

歳入

※各項目の数字は「地方財政状況調査」の数値を用いているため、決算書の数値と異なる場合があります。



繰越金 7億 226万円

他の会計や基金から一般会計に移された資金

繰入金 11億 2,501万円

地方譲与税など 12億 5,896万円

県支出金 13億 5,512万円

県が使い道を限定して交付するもの

財産収入など 14億 7,400万円

市債 15億 5,270万円

国や金融機関から借り入れるもの

地方交付税 67億 2,902万円

国が自治体の財源不足を補填するもの

市税 41億 3,260万円

市民が納める市民税、固定資産税など

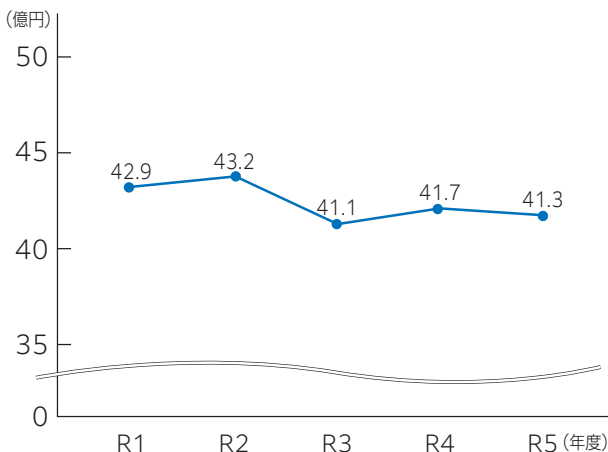
市税決算の推移

市税収入とは、個人・法人市民税や固定資産税などのことで、歳入のうち約2割を占めます。

個人市民税は前年度から0.5億円減少し、13.9億円でした。人口や給与所得の減少などにより、課税対象者が減ったことが主な理由です。

法人市民税は、前年度から0.3億円減少して2.0億円となりました。主な理由は、原材料や燃料価格の高騰、為替相場の影響などにより企業収益が減少したことによります。

固定資産税は、東日本大震災で被災した土地・家屋の減免措置、新型コロナウイルス感染症による軽減措置が終了したことなどにより、0.6億円増加し21.2億円となりました。



家計で例えるとローン残高にあたる「市債残高」は、前年度から約5.3億円減少し、約234.8億円。県内14市の中では第8位です。市債残高が増えること、将来の財政負担を増加させる要因になります。

■市民1人あたりに換算すると…

●預金額 28万7000円
●借金額 28万円(※)
※市債残高から交付税などを除いて換算

■なぜ市債を発行するの？

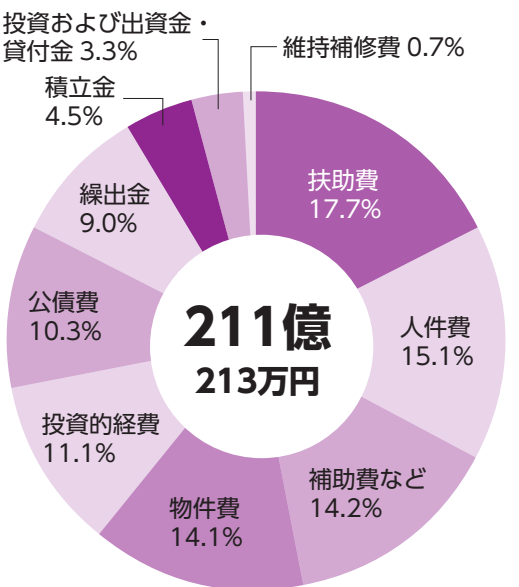
例えば、大きな施設の建設費の全額をその年の税収などで負担した場合、完成後に引越してきた人は、その費用を全く負担せずに施設を利用できることになってしまいます。

市債は「毎年の財政負担の平準化」や「現在と将来の市民の負担の公平性を保つ」役割があります。

大船渡市の貯金やローンは増えている？減っている？次のページで紹介

歳出

※各項目の数字は「地方財政状況調査」の数値を用いているため、決算書の数値と異なる場合があります。



扶助費 37億 3,624万円

医療・福祉のための経費

人件費 31億 7,776万円

職員の給料や手当など

補助費など 29億 9,351万円

各種団体への補助金や一部事務組合への負担金など

物件費 29億 7,635万円

光熱水費、消耗品費、施設の管理費など

投資的経費 23億 4,053万円

道路や公園、学校などの社会資本の整備費

維持補修費 1億 5,692万円

投資および出資金・貸付金 6億 9,222万円

積立金 9億 4,431万円

繰出金 19億 731万円

一般会計から他の会計に移された資金

公債費 21億 7,698万円

借金(市債)の返済費用



令和5年度の一般会計決算を家計に例えると…(年収500万円)

収 入		支 出	
	(単位:円)		(単位:円)
給与(市税などの自主財源)	1,285,000	食費(人件費)	725,000
去年の残金(繰越金)	160,000	医療費・保育料など(扶助費)	855,000
実家からの援助(地方交付税や国・県支出金など)	3,200,000	光熱費や通信費など(物件費)	680,000
ローン借り入れ(市債)	355,000	家・車・家電の修理、買い替え(投資的経費、維持補修費)	570,000
		自治会費など(補助費など)	685,000
		貯金(積立金、投資および出資金・貸付金)	375,000
		子どもへの仕送り(繰出金)	435,000
		ローンの返済(公債費)	500,000
		翌年への繰り越し(歳入-歳出)	175,000
合 計	5,000,000	合 計	5,000,000